

# 有限会社サンエイグラフィア

## SDGsの取組

<b>取組・活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボタニカルインクの積極的な使用</li> <li>・ノントルエン型の溶剤への切り替え</li> <li>・業務内容のDX化</li> <li>・DX化に伴う人的負担の軽減と労働時間の削減</li> <li>・材質別の徹底したごみの分別とリサイクル</li> </ul>		
	<b>目指すゴール</b>	<b>取組・活動内容とゴールとの関係</b>	<b>目標</b>
<b>経済</b>	8 , 9	デジタルツールの取り入れにより、従来では人の手により行われていた作業がマシンによるものになり、それにより業務プロセスが改善され、効率的かつ円滑な作業を行う。	2023年 顧客や注文の情報を紙媒体で管理 2030年 電子媒体へ完全移行
<b>社会</b>	5 , 8 , 11 , 16 , 17	DX化やマシンの取り入れ、また業務内容の拡大により、性別に関わりなく、より多くの労働者に適した作業環境を整備することで雇用拡大に取り組んでいる。	女性雇用者数 2022年 2人 2030年 10人（累計採用者数）
<b>環境</b>	7 , 11 , 12 , 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体への健康被害があるトルエン型の溶剤からノントルエン型に切り替える。</li> <li>・二酸化炭素の排出量削減に効果のあるバイオマスインクへ切り替える。</li> <li>・材質ごとの分別とそれに応じたリサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶剤の切り替え 2022年20% 2030年90%</li> <li>・インクの切り替え 2022年37% 2030年95%</li> <li>・廃棄物のリサイクル割合 2022年50% 2030年80%</li> </ul>